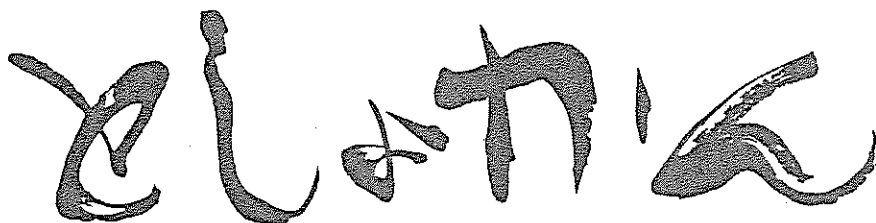


宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明る
いまちをつくります。
- 2 きまりを守り、活気あふれる
楽しいまちをつくります。
- 3 学ぶことを大切にし、文化の薫
る美しいまちをつくります。



編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 TEL 36-0231

新しくなつた 図書館情報

もっと便利な

図書館に

図書館では、コンピュータ・システムのレベルアップを行いました。

このため、利用者の皆さんにご不便をおかけしましたが、10月からはより詳しいデータを入力し検索できるようになりました。

利用者端末機はこれまでとは違い、誰にでもわかる簡単なことばで、画面上に操作方法が表示されますから、ぜひお試しください。

新しい機能の一部をご紹介しますと、紙芝居だけ、郷土資料だけ、と対象を限定して有無を調べたり、書名や著者名を複数入力して、そのうちのどれかに該当するものを抜き出すことができます。また、出版社名からの検索や、いくつかの名前を使い分ける作家については、どちらからでも調べることができます。

雑誌は、巻号数や発行日のほかに、特集記事を入力しておくことができるようになりました。

生涯学習

情報センター

このように機能を充実させることができたのは、生涯学習情報センターの開設に合わせて、図書館内にあったコンピュータ本体を情報センター（中央公民館内）に移転し、その間を光ファイバーケーブルで結んでいたためです。

このセンターでは、図書情報の他に生涯学習関連情報の提供を行います。この中に含まれるものは、

- 施設情報—公民館など施設の状況がわかります。
- 講師指導者情報—指導科目もわかる人材情報です。
- 団体サークル情報—入会条件や会費などがわかります。
- 講座教室情報—開催日程や講

図書館の他に端末機を設置するのは、次の20ヵ所です

座レベルまでわかります。以上4項目です。

これらの情報は10月下旬から調べられるようになりますから、興味のある内容について、職員におたずねください。

また、情報センターではさらにネットワークを広げて、図書館以外でも市内20ヵ所に新たに端末機

を設置して、図書と生涯学習関連の最新情報を、皆さんの身近な場所でも得られるようにして行きます。

情報センターについては、「生涯学習だより」の11号（11月発行）で詳しくお知らせいたしますが、図書館の他に端末機を設置するのは、次の20ヵ所です。

本庁

- 生涯学習課
- 行政情報センター
- 市体育館
- 学習文化情報センター

文化会館

地区センター

- 雀宮地区センター
- 篠井地区センター
- 清原地区センター

公民館

- 東公民館
- 西公民館
- 南公民館
- 北公民館
- 城山公民館
- 国本公民館
- 富屋公民館
- 豊郷公民館
- 平石公民館
- 瑞穂野公民館
- 横川公民館
- 姿川公民館

平成3年度

読み聞かせボランティア養成講座 養成講座(第二回)

去る9月22日(日)、「読み聞かせボランティア養成講座」の第1回

を、講師に山崎翠氏をお迎えして開催しました。山崎氏は、日本親子読書センターなどの、子どもの本を考える会に所属し、また自ら家庭文庫を開くなど、日常から子どもと深く関わり合いながら熱心な活動を続けていらつしやいます。

今回も、講演が始まる前に図書館内を見学なさるなど、講座に対する熱意ある姿勢を示してくださいました。その時に、しきりと感心なさっていたのが、図書館が公園内にある、という点です。講演の中でも、そのことに触れられ、自然との関わり合いの大切さという点で、この図書館は非常に良い環境にあるとほめてくださいました。

さて、講演は「読み聞かせの楽しさ・絵本の育くむ力」と題して行われましたが、山崎氏ご自身の「子どもに本を読み聞かせている

経験」をもとに、二本の柱をすえてお話しくださいました。

まず一つは、「今、子どもたちはゆつくり大人たちに愛されているか?」ということについて。ここでは、世の中が子どもたちにとって生きにくくなってきつつある今、大人たちは子どもに何をしてあげられるのだろうか、と問いかけています。

文庫のそばの林が平地になってしまったのをきっかけにして、子どもたちと自然の大切さについて語り合ったこと。松谷みよ子著『わたしのいもうと』(偕成社)との出会いで、子どもたちが学校へ行きにくくなっている現状を改めて考えたこと。これらのことを通じ山崎氏は、常に子どもたちのことを考え、文庫活動や読み聞かせの活動を行っているし、また皆さんにも考えてもらいたい、と語られました。

二つ目は、「子どもたちが人間

らしく生きるためには、何が必要なのか?」ということ。人間らしく生きるためには、人と人との関わり、自然との関わり、遊びとの関わり、文化との関わりの中で、体験としての豊かさを育くむこと

が必要だ、と山崎氏はおっしゃいました。ここでも山崎氏は、読み聞かせを通じて、その体験をふくらます手助けをしたいと強調されました。

最後に「絵本の育くむ力」とい



「読み聞かせの楽しさ・絵本の育くむ力」と題して講演する山崎 翠先生

うことを、絵本の紹介を交えて語られました。

子どもは絵本をよみながら感性、考える力をみがくことができます。それが、心(『優しい心』)を育てることにつながるとおっしゃいました。そこで大切なのは、絵本を読んでも聞かせてあげることだそうです。子どもは絵をよみ、言葉を聞いて想像力を養うもので、それが絵本の育くむ力となっているのだと語られました。

講演を通じて、一貫して子どもたちが健やかに、平和に成長できることを願う思いがふれていました。そのために果たす絵本の役割とは、ひいては、親や周りの大人たちが子どもに果たさなければならぬ責任となっているような気がします。

最後に、理屈抜きにして子どもに絵本を読んでもあげること、子どもと感動を共有できるという素晴らしい体験ですので、若いお母さん方や先生は、是非絵本を読んであげてください、とおっしゃっていました。

受講生の方々も、時間を延長しての話に、熱心に聞き入っていました。

秋はきのこ狩りのシーズンです。私たちにとってきのこは、たいへん身近かなのに見分け方がむずかしく、かわいらしさと猛毒とを合わせ持つ、謎に満ちた存在です。きのこに親しむための本を、郷土資料の中からご紹介しましょう。



郷土資料コーナー 栃木県の きのこの本



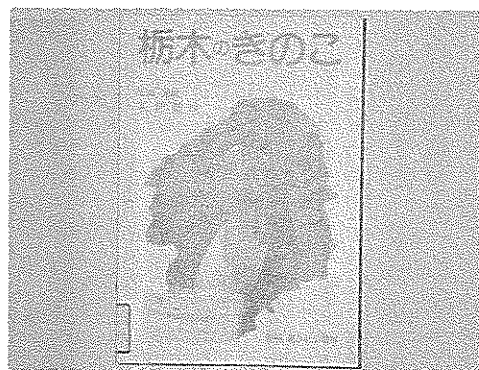
『栃木のきのこ』

萩原基維著・月刊さつき研究社・

一九九〇年・一、八〇〇円。

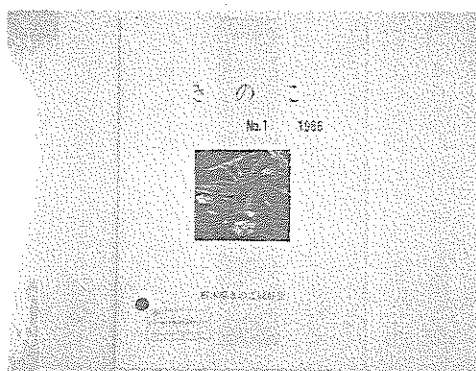
本書の前書きによると、栃木県は、日本列島の中央に位置し、いくつかの地理的気候的条件を合わせ持っているため、きのこの種類が豊富で、きのこ狩りの宝庫として注目されています。『栃木のきのこ』は、全国的にも価値の高いものと言えるでしょう。

本書を開くと、全ページに色鮮やかなカラー写真が目を引きます。一種のきのこにページを当て、写真と解説を配した使い易い構成です。著者が長年にわたって撮影し続けてきた貴重な写真は、きのこの生態を科学的に説明するだけ



でなく、生物のもつ神秘的な美しさを余すところなく伝えています。収録された一五二種は、著者の採集したきのこの一部にすぎず、続編も予定されています。

巻末に五十音索引があり、手頃な大きさは持ち歩くのに便利です。



『きのこ』(機関誌)

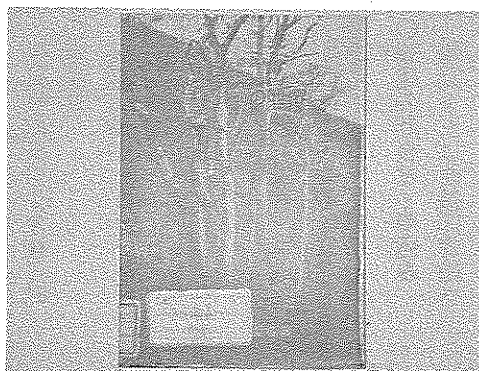
栃木県きのこ同好会編・発行。

きのこ同好会が年一回発行する機関誌で、研究論文を中心にした質の高いものです。研究対象はいろいろですが、栃木県のきのこの研究論文も発表されています。会員によるエッセイは、きのこにまつわる映画・文学・方言に触れたり、個々人の思い出を語ったりと

様々ですが、会員のきのこへの愛情の深さが感じられます。

『キノコの世界―第九回県立博物館企画展』 栃木県立博物館編・発行・一九八九年。

県立博物館の企画展の解説ですが、一冊の本としても十分な内容を持っています。わかりやすく多角的な説明と、図版が多いのが特徴です。「栃木のキノコ」の章を読むと、県内のきのこの生態の全体像をつかむことができます。



講座のご案内

田島征三氏

展覧会・講演会

絵本『とべバッタ』などで知られる絵本作家田島征三氏の原画展及び版画展を開催します。

期間は、平成3年11月19日(火)～11月24日(日)。会場は、図書館1階ロビーです。

内容は、絵本『とべバッタ』の原画3点と版画15点を展示する予定です。

最終日には、田島氏の講演会も併せて開催します。日程等は次のとおりです。

▽日時……平成3年11月24日(日)
午後1時30分～3時30分

▽会場……図書館3階集会室

▽テーマ……風と草と子どもたち

▽定員……120名

▽受講料……無料

▽申込み……11月15日(金)午前9時30分から、直接または電話でお申し込みください。

※詳細は、後日広報紙「うつのみや」等でお知らせします。お問い合わせは、市立図書館(☎36-0231) 館外奉仕課まで。

好評!!

野口雨情展開催中

野口雨情展を十月五日から十二月二十五日まで各階ロビーで開催しています。

これは、本市にゆかりの深い野口雨情が童謡を通じて、全国の子どもから大人まで「日本人の心の原点とは何か」を深く問ひかけ、多大の影響力を今も残しており、多分「ふるさととは何か」を考えていただく目的でこの展示を行っています。図書館所蔵資料のほか、とらや菓子店の柿沼宏氏、県立図書館などの協力を得ており、野口雨情が編集にかかわった子供向け雑誌「金の船」(大正九年八月号)や生前の写真、愛用した日用品など九十点余りが一階から三階にわたって展示してありますので、しばしの間、野口雨情の童謡の世界にとけ込むことができると思われます。



寄贈

弥勒会(上村輩遺稿集)、小林悦三(断固「NO」と言える日本他二冊)、石原守一(石原傳兵衛家雁蝶記他二冊、勸業形財センター(平成二年度版素形財年鑑、朝日新聞社社史編集室(朝日新聞社史大正・昭和戦前編、戸田市役所(戸田市史年表、八木昭二郎(八木昭二郎詩集雲その二他一冊)、イケマン人形保存財団さがの人形の家(イケマン人形文化保存財団博物館「さがの家」紀要第一号、郷間信行(風の色・四季の色、anスカラシップ事務局(一九九一高校生NOW、フジテクノシステム(イラストで知る危険物入門、コスモ石油広報部(CDオペラブック「魔笛」、角村照久(イチゴ白書、大関進(大地の子(下)他一冊、講談社サイエンスティフィク(講談社サイエンスティフィク20年史、柴田貞雄(日本の名随筆一他一冊、河辺靖子(創造的要素他十冊、岡田左知子(昭和文学全集)小林満(衰亡と繁栄他十冊、大竹清作(日本剣客列伝、大竹宏美(ガラスのうさぎ他五十冊、高野昌子(こじかものがたり他二十冊)柴山修一(徳川家康全集一十八)野沢広(底流に何が起きていたか・続激動の二十年)他多数。

ボランティアのみなさん
ありがとうございます

点字・声の図書製作
状況(3年7・8月)
▽点字図書「錦繡」
「フランドーの犬
(英語版)」ほか4タイ
トル7冊。
▽声の図書「そし
て死刑は執行された」
「ヨーロッパ鉄道の旅」
ほか23タイトル119巻。

第49回落語会

この落語会は、テープに録音し視覚障害者の皆さんに郵送貸出をするものです。寄席の雰囲気づくりのためには、あなたの笑い声が一番です。ぜひとも、お出かけください。

日時 11月16日(土)午後3時
5時

会場 市立図書館三階集会室

協力 のんき亭喜楽一門会

入場料 無料

詳しくは、市立図書館

0231へ。

利用案内

開館時間

午前9時30分～午後7時
ただし、児童図書室は
午前9時30分～午後5時

休館日

毎週月曜日
国民の祝日

貸出は

図書・紙芝居 5冊
レコード・CD 5点
ビデオ・16ミリフィルム 5点

○講座の問合せ・申込み
電話または直接図書館へ
電話(36) 0231

貸出状況

区	分	3年7月	3年8月
登録者数		155,820人	157,287人
貸出人 数	館内	19,457人	22,433人
	館外	2,443	1,687
	中央公民館	763	856
	雀宮公民館	1,295	1,591
	地区センター	860	770
	合計	22,798	27,337
貸出冊 数	館内	56,984人	71,630冊
	館外	9,732	6,794
	中央公民館	2,430	2,707
	雀宮公民館	4,951	6,030
	地区センター	2,869	2,855
	合計	76,966	90,016

(注) ・登録者累計数は、開館からの累計数
・地区センターは篠井、清原地区センター内図書館

11月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					①	2
3	④	⑤	6	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	⑱	19	20	21	22	⑳
24	㉕	26	27	28	29	30

12月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
①	②	3	4	5	6	7
8	⑨	10	11	12	13	14
15	⑯	17	18	19	20	21
22	㉓	㉔	25	26	27	㉘
㉙	㉚	㉛				